

国語 第6学年 カンジー博士の漢字学習の秘伝 検討会の想定問答

指摘 1：この単元で身に付けることは何か。

返し：自分の漢字学習の記録から間違いやすい箇所を特定し、意味・字形・使い方に分けて確かめ直す。同じ字を多く書く回数で成果を測らない。B(1)オの学習として、自分の誤りの種類、選んだ確かめ方、別の文で使った結果。

指摘 2：何をもって学習できたと判断するか。

返し：おおむね満足できる状況は、文章を読み返し、漢字や送り仮名の使い方を確かめて文章を直しているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。B(1)オの姿を本時の発言と記録に照らす。

指摘 3：活動が楽しいだけで終わらないか。

返し：自分の誤りの種類、選んだ確かめ方、別の文で使った結果を残す。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、B(1)オに関わる学習の中身を確かめる。

指摘 4：つまり児童にはどんな支援をするか。

返し：何度も書けば意味も使い方も分かると思う、全員に同じ練習を課す。これに対して、誤りを「字形」「読み」「意味・用法」に分け、本人が確かめる箇所を選ぶ。点画を比べる、音読する、文を作るなど誤りに合う方法で再確認する。〔知識及び技能〕(1)ウとB(1)オを切り離さず扱う。

指摘 5：考えが違ったときはどう扱うか。

返し：教師の結論を選ばせず、「自分が間違えた理由に合う確かめ方は、どれですか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、B(1)オに関わる根拠を話し合う。

指摘 6：本時の評価で態度まで決められるか。

返し：本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

指摘 7：端末がない学級でもできるか。

返し：自分の誤りの種類、選んだ確かめ方、別の文で使った結果は紙に記録できる。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をB(1)オの評価の代わりにしない。

指摘 8：時間が足りないとき、どこを残すか。

返し：総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。B(1)オで目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

指摘 9：この教材で、誤りやすい点をどう確かめるか。

返し：何度も書けば意味も使い方も分かると思う、全員に同じ練習を課す。誤りを「字形」「読み」「意味・用法」に分け、本人が確かめる箇所を選ぶ。点画を比べる、音読する、文を作るなど誤りに合う方法で再確認する。

指摘 10：振り返りを感想だけにしないためには。

返し：「自分が間違えた理由に合う確かめ方は、どれですか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。B(1)オに関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

